

授業改善推進プラン < 英語科 >

(英語) 科 における令和元年度授業改善推進プランの検証

- | |
|---|
| 1 学年：全体的に「聞くこと」「話すこと」への苦手意識は少ないが、「文法事項の理解」や「書くこと」への苦手意識をもつ生徒が多い。 |
| 2 学年：「表現の力」のうち、自分が伝えたいことを英語で表す活動を行っている。主にワークブックを活用しているが、日本語を英語に変換する点が課題である。 |
| 3 学年：「表現の力」のうち、特にALT とのスピーキングテストなどを通して、「話す力」のうち「やりとり」を重点的に行っている。結果、話すことに対して前向きに取り組める生徒が増えてきている。 |

(英語) 科 における調査結果の分析

内容別結果の分析	2 学年：目標値に対しては、「リスニング (内容理解)」がマイナス 3.8 ポイントと、大きく下回った。そのほかの項目では、小さく下回った、または目標値を上回った。「3 文以上の英作文」においては、ワークブックやプリントを通して、演習を行っているが、まだ身につけていない部分がある。1 文の英作文を丁寧に扱っていく。全国の正答率と比べると上回る項目が多かったが、基礎的な知識はこれからも継続して授業で扱っていく。
	3 学年：目標値に対しては、全ての項目において目標値を上回った。 知識・理解の分野において、特に「単語を書く」点で 5 ポイント以上下がっている項目が、8 項目中 4 項目あった。
観点結果の分析	2 学年：全ての項目で、目標値を上回っている。一定の学習活動の成果はみられる。 3 学年：「関心・意欲・態度」と「理解の能力」に比べて、「表現の力」と「知識・理解」が低い。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- | |
|---|
| 2 学年：与えられた日本語を英語にする英作文の活動、自分の考えを英語で表す活動、スピーキングの演習を通して、使うための英語を学習していく。 |
| 3 学年：長文読解を活用して、「書く力」を伸ばすことで、「表現の能力」を伸ばしていきたい。
また、同様に長文読解を活用して、単語及び連語の語彙数を増やしていく。 |

(英語) 科 の授業改善策

- | |
|---|
| ○スピーキングテストなどのコミュニケーション活動を多く取り入れ、表現力を高める。 |
| ○ペアワークや発表などの機会を増やし、「やりとり」「発表」する力を高める。 |
| ○帯活動で継続的に行ってきたことを、定期考査の「表現の力」の問題で試すなど、授業でのがんばりが定期考査などの結果に反映されるような工夫をしていく。 |